

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

		整理番号	458
事業名	健康南あわじ21策定事業	予算科目	会計 一般会計・1 款 衛生費・4款 項 保健衛生費・1項 目 保健衛生総務費・1目
担当部課名	健康福祉部 健康課		
電話	0799 - 44 - 3004		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	第3次国民健康づくり対策「21世紀における国民健康づくり運動」
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	
	まちづくりの目標	延ばせ健康寿命_【健康】	
	施策目標	健康増進や予防などに関する意識を高め、信頼性の高い医療・救急医療が受けられる仕組みを整える	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	乳幼児から高齢者までの全市民(対象人数:平成22年3月末現在)	対象人数(人)	52,012
	目的	<p>意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)</p> <p>「健康南あわじ21策定委員会(これから選出予定)」を中軸として、これまでの取り組みの状況や実績、それに対する市民意見、健康に関する認識把握をもとに計画を検証し、社会情勢の変化を踏まえつつ、中間評価を実施して、その評価を基に、分野別、ライフステージ別に健康課題を抽出し、それに対する今後の取り組みを検討し、市民と関係機関・団体、行政等それぞれが連携しながら推進していく。</p>		
	実施内容	<p>(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)</p> <p>健康を支える生活習慣の確立 子どもがすこやかに育つ環境づくり 生涯現役アクティブライフの推進 感染症、難病、精神疾患対策の充実の4分野について、各部会において、種々のデータや内容等をもとに、市民の意識や取り組み状況を把握し、策定委員会において、目標修正、今後の方向性を決定していく。</p>		
	背景	<p>(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)</p> <p>平成14年の国の健康増進法第8条2項より『都道府県健康増進計画を勘案して市町健康増進計画を定めるよう努める』をうけて、本市においても、市民一人ひとりが、それぞれのライフステージ、ライフスタイルにあった健康づくりを実践できるような施策を目的として、平成17年3月健康南あわじ21を策定し、平成26年度までの10ヵ年計画とした。5年後の見直しが努力義務とされており、本来は平成21年度が見直し期間であったが、新型インフルエンザ対策等で出来ず。平成22年度において中間評価の実施を行う予定としている。</p>		
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ( ) <input type="checkbox"/> 平成 22 年度 ~ 平成 22 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	<p>(合併前におけるの事業実施団体と合併時における事務調整経緯)</p> <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧の三原郡4町及び三原保健所等関係機関でワーキンググループを構成し、計画策定にあたった。合併後、平成17年3月完成。計画書を関係機関等に配布、概要版は市民に配布。			

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	計画目標の達成状況					指標単位
	指標説明 (指標算出 方法等)	今の状況では、見直しは出来ていない。					回数・人数
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値						
	実績値						
	達成度(%)	-	-	-	-	-	
目標値設定 の考え方	目指す4分野それぞれに対して、客観的に評価出来るように目標を設定しているが、評価は出来ていない。今後評価を行っていくつもりである。						
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)				1,063	0	
	報償費				240		
	需用費(食糧費)				7		
	需用費(印刷製本費)				756		
	役務費(折込手数料)				60		
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	0	0	0	1,063	0	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)						
	事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	0	0	0	1,063	0		
'目的'対象人数1人当り経費 (円)	0.0	0.0	0.0	20.4	0.0		
経費に関する 補足説明	策定委員には報償費の支払いとなっておりますので、健康南あわじ21策定委員会設置要綱を制定を予定していますが、策定委員会及び各部会メンバーについて、保健センター運営委員会に図っていく。						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
達成度	目標達成度	%	-	-	-	-	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 今の時点で、評価作業が出来ていないので、達成度は確認出来ていない。						自己評価 (5点評価)	2
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 急速な少子・高齢化とともに、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病の生活習慣病が増加し、これに伴う要介護高齢者の増加等、健康を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。中間評価するにおいて、今の現状を検証することによって、今後、市民一人ひとりが生涯にわたり健康を自己管理していく力を高め、自らの健康づくりを継続実践していくとともに、市民一人ひとりの健康づくりを社会全体で支援していく仕組みづくりを考えていく。						自己評価 (5点評価)	3
	事業単価	円	0.0	0.0	0.0	20.4	0.0	
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 中間評価を行うことで、今の現状の把握及び、市民一人ひとりが自分の健康状態を認識し、健康的な生活を実践する。又、個人の取り組みだけでなく、健康づくりに取り組みやすい環境整備、地域組織づくり等社会支援出来る方法・背策等考える指標となる。既存の福祉・介護計画、食育計画、次世代育成計画との重複部分は参考にしながら行うことにより、時間的経済的無駄の削減も考えられる。						自己評価 (5点評価)	2
	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 中間評価を行うことで、今の現状の把握及び、市民一人ひとりが自分の健康状態を認識し、健康的な生活を実践する。又、個人の取り組みだけでなく、健康づくりに取り組みやすい環境整備、地域組織づくり等社会支援出来る方法考える指標となる。しかし、食育計画・次世代育成計画・福祉計画等重複する内容が多々ありますので、既存の計画を活用して行く方向での検討が必要と思われます						自己評価 (5点評価)	3
	総合評価	自己評価をふまえた現状分析 急速な少子・高齢化とともに、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病の生活習慣病が増加し、これに伴う要介護高齢者の増加等健康を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。中間評価することにおいて、今の現状を自覚することによって、今後、市民一人ひとりが生涯にわたり健康を自己管理する意識付け、自らの健康づくりを継続実践していくきっかけにもなる。また、市民一人ひとりの健康づくりを社会全体で支援していく仕組みづくりを考えていく必要もある。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>この計画も10年間の計画で21年見直しが今年にずれ込んでいる状態である。各部会委員を選定し、それぞれの分野について、見直し作業を実施平成23年度において今後の方向性をまとめ、策定委員会に図っていく。</p>	<p>計画作成10年度の26年度に大幅な見直しを実施予定。当面の課題「生活習慣病予防」「こころの健康」「育児支援」等について、担当者間で分析を行う。その結果を踏まえて、今後の取り組みについて、保健センター運営委員会に含めて検討を行う。</p>
(現状維持以外の改善方法)	保健センター運営委員会に含めて検討していく。	同左。
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	<b>効果(アウトカム)面</b> メンバー構成が重複するので、保健センター運営委員会で十分効力を果たすと思われる。	同左。
	<b>コスト面</b> 保健センター運営委員会の報酬のみで、経費削減になる。	同左。
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	